

第643号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2022年10月17日
 発行責任者 喬木村公民館 長 徹
 市 瀬 徹
 編集責任者 公民館 編集部 長 志
 仲 田 久 志
 印刷 龍共印刷株式会社

小学校開校 150 周年・中学校開校 75 周年

村の学校の歴史

小学校の歴史

明治五年に阿島安養寺に嚶々学校が開校し、翌六年、七年に、富田・氏乗・小川・伊久間にそれぞれ



嚶々学校開校の地

明治8年喬木村発足

5校独立小学校となる



開校当時の富田学校

喬木第一・第二尋常高等小学校の発足



喬木第一国民学校の校舎

昭和30～50年にかけて、分教場が廃止され、現在の2校体制になる。

喬木第二小学校



旧校舎



現在

喬木第一小学校



旧校舎



現在

あの時

横断歩道一旦停止ランキングで、長野県は断トツの一位。横断歩道に横断しようとする歩行者がいた時、長野県では80%以上の車が一歩停止するという。二位の都道府県を20%以上引き離しての断トツ一位なのだ。なぜ長野県は断トツ一位なのだろうか。

横断歩道での一旦停止は、交通法規で定められたルールだ。長野県は他県に比べて取り締りが厳しいという点ではない。むしろ、横断歩道で渡ろうとしている子どもにも気づいて一旦停止すると、渡り終わった子どもは必ずといっていいほど、振り返ってお辞儀をしてくれる。これは長野県特融のことで、他県ではほとんど見られない。横断歩道での一旦停止率を向上させようと、長野県の子どものようにお辞儀をすることを推奨しようとした県もあるようだが、「歩行者優先。お辞儀をする必要はない」と不評だったと聞く。

子どもたちが渡り終わってお辞儀をする習慣は、長い年月を経て定着した素晴らしい行為だと私は思う。運転者と歩行者の言葉を介さないコミュニケーションである。一旦停止をするドライバーとお辞儀をする歩行者との心の通いが、高い一旦停止率を支えていると私は思う。大事にしていきたい。

(館長)

喬木村の山城へ 出かけてみませんか

喬木村歴史民俗資料館 宮下敏英

喬木村には、阿島城原城、小川松下山、伊久間城、富田城、氏乗城山城の五つの山城があります。皆さんは行かれたことがありますか。今回は、阿島城原城について紹介します。

裏山で毘沙門山と呼ばれています。城原段丘が西方に突出した台地に位置しているため、「新墓地」と呼ばれています。標高は約500mで、対岸の飯田方面や周囲の山々を一望できる格好の展望台です。南には加々須川、西には天竜川の氾濫低地、北には明神洞と三方がいずれも

約七〇〇八〇mの険しい段丘崖に囲まれ、天然の要害となつています。しかし今は、遺構として見るべきものは少なく、台地の東方に深い段丘崖が南北から迫り、首のように細くなつた地帯があり、昔はここを利用して堀が造られていました。今は「相の堀」とよんでいます。

戦国時代に知久平城に在った知久氏は、山城の必要に迫られ一五〇〇年頃、神之峰城を築き移り住みます。それより約一〇余年後、領内の有力地侍は頭領の知久氏の命令で出城をつくってこられるようになります。

本城へ知らせるため、常時何人かを見張りとして住まわせておき、城主はその麓あたりに居館していました。この館を中心として互いに連絡し、家臣たちの屋敷や明神社、安養寺などの社寺をも包含して城下が形成されていたと考えられています。

資料館では村の文化展示ウィーク(十一月一日から六日)にあわせて、喬木村の山城展を開催します。ぜひ、お出かけください。



北保育園から望む阿島城原城跡

中学校の歴史

長野県組合立竜東農学校(長野県組合立竜東農学校)を経て、昭和二年、新制喬木中学校として開校する。

開校当時は青年学校校舎(旧役場跡)と第一小学校



青年学校校舎(旧役場)

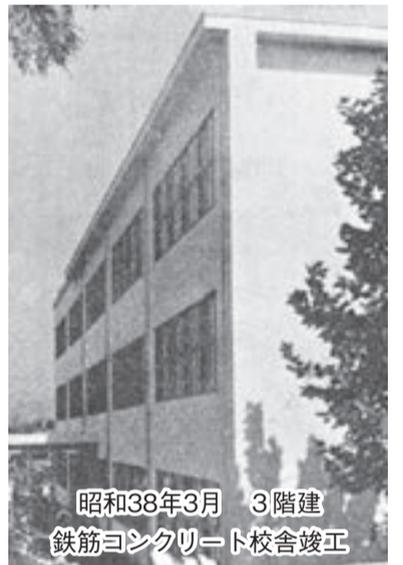


昭和31年度の校庭と校舎

校庭の道路跡・石積みは33年の校庭拡長工事で見られなくなった。両校舎中間の杉の木のもとに八幡社の鳥居が見え、奥正面に工事中の体育館が見える。



現在



昭和38年3月 3階建 鉄筋コンクリート校舎竣工

椋鳩十記念館・記念図書館開館三十周年記念

「椋鳩十と原田泰治二人の世界」原画展「太陽の匂い」原画展」始まる

去る十月一日(土)、椋鳩十記念館ギャラリーで、開館三十周年記念「椋鳩十と原田泰治二人の世界」原画展「太陽の匂い」原画展」オープニングセレモニーが行われました。オープニングのテープカットから始まったセレモニーには、諏訪市から原田泰治先生のご親族、鹿兒島県や東京都から椋鳩十先生のご親族、村の関係者が集まり開催を祝いました。開催にあたり、椋先生の孫の久保田朝彦さん、そして原田先生の長女の原田美室さんが挨拶に立ち、椋先生と原田先生の二人の交流、繋がり、そして今回の原画展について感慨深げに話されました。また、喬木村市瀬直史村長からは、三十周年となった椋鳩十記念館・記念図書館開館の経緯を織り交ぜ、これから約三ヶ月間開催される原画展に多くの皆さまが足を運んでいただければと挨拶がありました。今回、この原画展を喬木村で開催するということが実現しました。

また、十月二十三日(日)午後二時からは、喬木村中央社会体育館において、原田美室さんのギャラリーで、原田先生の絵を寄贈いただく



テープカットの様子



原田先生の絵を寄贈いただく

トークを開催します。原画展は、十二月二十五日(日)まで開催され、休館日は月曜日と祝日、開館時間は午前10時から午後六時(土・日は午後五時まで)となります。ご不明な点がございましたら、椋鳩十記念館・記念図書館までお問い合わせください。

社会体育施設利用のご協力いただいている皆様へ感謝

皆様にご利用いただいている運動公園をはじめ、駐車場や児童公園周辺など、定期的な草刈りが必要な箇所が複数あります。今年度は以下の団体・個人の方がボランティアで運動公園や曙月庵周辺の草刈りを行っていただきました。誠にありがとうございました。

○団体(二社) パブリックサービス飯田事業所さん、(公社) 飯田広域シルバ人材センター 喬木支部さん



シルバ人材センター 喬木支部の皆さんによる草刈りの様子

喬木俳句会

長月旬会詠草

刈り終へし広き田んぼや子ら駆ける 矢澤恵美子

雲晴れて平和を祈る良夜かな 松島みのり

吾木香わが背を越しぬ凜として 宮島 高枝

秋風やフルーツライン吹き抜けり 村山 たか子

籐架に振り鉢巻き考の影(考...亡くなった父のこと) 満月や節くれた指オカリナに

静寂の闇夜を灯す虫の声 露草や一日生きゆく光かな 田中 君子

晴れ渡る夜空は青き虫の声 彼岸花咲く時を待ち友は逝く 原 美恵子

十六夜や溜息ひとつ厚き雲 老いの身の暮るる早さよ九月尽 西元 くにこ

爆音は遠き日のこと稲を刈る 夕星のひときわ光り星月夜 市橋 ヨリ

小さき家小さき木箱の朝顔よ 父母のこと語り合ひ栗を剥く 松葉 孝子

語り部の明日に生きる命かな 命日や母の好みの菊脛 吉川 てる子

今後のイベントについて

公民館楽遊塾第3講座『廃油を利用した石鹸づくり』

日時:令和4年10月30日 9:00~ 場所:石けん作り工場(堰下浄化センター東側) 申込:10月24日まで ※先着10名

公民館文化展示ウィーク

期間:令和4年11月1日~6日 10:00~17:00(※5日のみ20:00まで) 場所:福祉センター、歴史民俗資料館、アスポ、椋鳩十記念館・図書館、学遊館(日曜のみ) 内容:作品展示、PR動画放映、スタンプラリー(土日のみ)

村民マレットゴルフ大会

日時:令和4年11月13日 場所:大原机山 マレットゴルフ場

第35回 椋鳩十夕やけ祭

日時:令和4年11月20日 13:30~ 場所:福祉センター2階 多目的ホール

ふるさとづくりフォーラム

日時:令和4年11月27日 13:30~ 場所:中央社会体育館

リユースイベントを実施します!フォーラムに合わせてリユースイベントを開催します。ぜひお越しください。

編集後記

あつという間に暑い夏の空気から秋の気配をまとった空気へと変わった。コロナ禍の中の生活も三年。講演会や各種イベントも少しずつ行えるようになった。ただ、公民館事業でも体育系の行事はなかなか難しいようだ。大会がないので所属する地区のバレーチームも活動休止状態。テレビで日本代表の試合を応援しつつ、時間をつくって体を動かす習慣の大事さを今更ながら実感している。